

第1 土地利用を取り巻く状況の変化と課題

Table with 4 columns: 1 本格的な人口減少社会の到来, 2 自然環境等の保全と活用, 3 災害に強い地域の構築, 4 リニア時代の到来

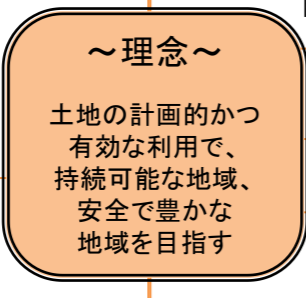
第2 飯田市の特性と地域別概要

Table with 6 columns: (1) 丘の上及び周辺地域, (2) 竜西北部地域, (3) 竜西中部地域, (4) 竜西南部地域, (5) 竜東地域, (6) 遠山地域

第3 土地利用に関する基本構想

1 基本とする理念と重要事項

持続可能性の保持と環境負荷の低減
・社会持続性の保持(地域コミュニティや文化の継承、移住や二地域居住による定住促進等)
・環境持続性の保持(自然環境保全、再生可能エネルギーの創出と活用、空き家活用等)
・財政持続性の保持(効率的効果的な社会資本の維持整備)
歴史に学び防災を重視した土地利用
・災害を乗り越えてきた地域の歴史から学ぶ土地利用により、将来にわたって安全で安心な生活や仕事を営んでいくための土地利用



自然環境、特に水と緑を保全し創出する土地利用
・豊かな自然環境を保全し、可能な限り創出する
地域の自立した経済活動を支える土地利用
・地域の特性、地域資源を活かした経済活動を支え、活力ある地域形成につながる土地利用
伝統・文化を継承し、保全する土地利用
・地域固有の文化を継承、歴史的資産の保全
農地を確保し、適切に維持する土地利用
・食料生産の場だけでなく、環境、防災、景観形成の観点から、適切な確保と維持を図る

2 基本指針

- 持続可能な地域構造への転換
・計画に基づく土地利用(計画なくして開発なし)
・使い捨ての抑制、宅地総量の抑制
・土地の流動化促進、低・未利用地の有効活用
・都市基盤・生活基盤の既存ストックの利活用
○拠点集約連携型の地域構造の推進
・中心拠点(丘の上、中心市街地 都市機能の集約と充実)
・地域拠点(地区センター、公民館等 地域機能を集約)
・交流拠点(天龍峡、遠山郷 魅力発信と交流)
・広域交通拠点(リニア駅周辺 高度なトランジットハブ)



第4 土地利用目的に応じた区分ごとの規模の目標及び基本方向

1 利用区分ごとの目標

Table with 4 columns: 利用区分, 平成26年(基準年次), 平成40年(目標年次), 増減

2 利用区分別の土地利用の基本方向

Table with 2 columns: 利用区分, 基本方向

3 地域類型別の土地利用の基本方向

Table with 3 columns: 地域類型, ゾーン, 重層的ゾーン

第5 達成するために必要な措置等

Table with 5 columns: 土地の保全及び安全性の確保, 持続可能な土地の管理, 自然環境の保全・再生・活用, 土地利用転換の適正化と有効利用の促進, 土地の市民的経営の推進